

新春特集展示 ひつじづくし—^{えと}干支を^め愛でる—

2026年12月22日(火)～2027年2月7日(日) 京都国立博物館 平成知新館(2F-2 展示室)

2027年の干支はヒツジ。ヒツジは羊毛や羊肉として利用され、世界的にみれば家畜として長い歴史をもつ動物です。しかし、**日本では高温多湿な上、広大な牧用地が確保しにくく、近代まで馴染みがない動物でした。**にもかかわらず、ヒツジを表した文化財が日本に残るのは、中国から輸入した、もしくはそれに憧れて日本で真似をしたからといえます。知識としては知っていても、**実物に馴染みがない日本人がヒツジをどのように表現したのか、中国の作品と見比べてみてください。**

ファミリー向け企画として、やさしい解説文(小学校高学年～)と、作品を見るのが楽しくなるワークシート(小学校低学年～)をご用意しています。



花卉鳥獣図巻(部分) 国井応文・望月玉泉筆
江戸～明治時代 19世紀 京都国立博物館蔵



重要文化財 倣梁楷黄初平図
雪舟筆 室町時代 15世紀
京都国立博物館蔵
(12月22日～1月17日展示)

【開館時間】午前9時30分～午後5時 *金曜は午後8時まで開館 *入館は各閉館の30分前まで

【観覧料】一般700円 大学生350円

*本観覧料で当日の平成知新館の全展示をご覧いただけます。

*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料となります。年齢のわかるものをご提示ください。

*障害者の方とその介護者1名は無料となります。障害者手帳などをご提示ください。

*キャンパスメンバーズ(含教職員)は無料となります。学生証または教職員証をご提示ください。

【休館日】月曜日、2026年12月28日(月)～2027年1月1日(金・祝)

*ただし2027年1月11日(月・祝)は開館し、1月12日(火)休館

【一般問い合わせ】TEL 075-525-2473 (テレホンサービス) <https://www.kyohaku.go.jp/>

—報道に関するお問い合わせ—

京都国立博物館 学芸部企画室 TEL:075-531-7508/FAX:075-531-7719 〒605-0931 京都市東山区茶屋町 527
press_kyohaku@nich.go.jp

特集展示 茶の湯の道具と次第^{しだい}

2026年12月22日(火)～2027年3月22日(月・休) 京都国立博物館 平成知新館(1F-2 展示室)

茶の湯の道具は、本体を保護するための箱も含めて、大切に受け継がれてきました。こうした**本体に付属する一式を「次第(しだい)」と呼びます**。次第には様々なものがありますが、制作当初から添っている「共箱」、所有者が変わるたびに詠えられた「仕覆(しふく)」なども、本体とともに珍重されてきました。

本展では、「大井戸茶碗 銘喜左衛門」(国宝、京都・孤蓬庵蔵)をはじめとした茶道具の名品とともに、それぞれの「次第」をあわせて展示いたします。一つ一つの茶の湯の道具が積み重ねてきた、歴史や背景に触れる機会となれば幸いです。



国宝 大井戸茶碗 銘喜左衛門
朝鮮半島・朝鮮時代 16世紀
京都・孤蓬庵蔵



唐物肩衝茶入 銘残月
中国・南宋～元時代 13～14世紀
文化庁蔵

【開館時間】午前9時30分～午後5時 *金曜は午後8時まで開館 *入館は各閉館の30分前まで

【観覧料】一般700円 大学生350円

*本観覧料で当日の平成知新館の全展示をご覧いただけます。

*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料となります。年齢のわかるものをご提示ください。

*障害者の方とその介護者1名は無料となります。障害者手帳などをご提示ください。

*キャンパスメンバーズ(含教職員)は無料となります。学生証または教職員証をご提示ください。

【休館日】月曜日、2026年12月28日(月)～2027年1月1日(金・祝)

*ただし2027年1月11日(月・祝)、3月22日(月・休)は開館し、1月12日(火)休館

【一般問い合わせ】TEL 075-525-2473 (テレホンサービス) <https://www.kyohaku.go.jp/>

—報道に関するお問い合わせ—

京都国立博物館 学芸部企画室 TEL:075-531-7508/FAX:075-531-7719 〒605-0931 京都市東山区茶屋町 527
press_kyohaku@nich.go.jp

特別公開 和東谷の開拓者 —原山古墳被葬者の実像—

2027年1月2日(土)～3月22日(月・休) 京都国立博物館 平成知新館(3F-2 展示室)

京都府南部に位置する和東町(わづかちょう)は、山々に囲まれた谷あいの郷で、茶畑が織りなす美しい景観から「茶源郷(ちゃげんきょう)」の愛称で親しまれています。この地に築かれた原山古墳は、古墳時代中期(5世紀)にいち早く和東谷へと進出した開拓者の墓と考えられます。

本展では、**甲冑をはじめ刀・鉾・鏃・鏡などから構成される原山古墳の出土品を初めて一堂に公開するとともに、周辺の古墳との比較から、被葬者の人物像と交流の実態に迫ります。**そして、原山古墳の被葬者が切り拓いた道が、のちに恭仁京(くにきょう)と紫香楽宮(しがらきのみや)を結ぶ交通路へとつながっていく歴史を、関連資料を通して紹介します。



原山古墳出土品
京都府相楽郡和東町原山西手出土
京都国立博物館蔵

【開館時間】午前9時30分～午後5時 *金曜は午後8時まで開館 *入館は各閉館の30分前まで

【観覧料】一般700円 大学生350円

*本観覧料で当日の平成知新館の全展示をご覧いただけます。

*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料となります。年齢のわかるものをご提示ください。

*障害者の方とその介護者1名は無料となります。障害者手帳などをご提示ください。

*キャンパスメンバーズ(含教職員)は無料となります。学生証または教職員証をご提示ください。

【休館日】月曜日 *ただし2027年1月11日(月・祝)、3月22日(月・休)は開館し、1月12日(火)休館

【一般問い合わせ】TEL 075-525-2473 (テレホンサービス) <https://www.kyohaku.go.jp/>

—報道に関するお問い合わせ—

京都国立博物館 学芸部企画室 TEL:075-531-7508/FAX:075-531-7719 〒605-0931 京都市東山区茶屋町527
press_kyohaku@nich.go.jp